

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 30 日 作成

| | | | | | | |
|--------|--|----|--------------------|--|-----------------------------------|--|
| 事務事業名 | 地域住民グループ支援事業 | | | <input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連 | <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 | <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連 |
| 総合計画体系 | 政策 | 4 | みんな元気で笑顔あふれるまちづくり | 所属部 | 健康福祉部 | 課長名 後藤博康 |
| | 施策 | 16 | 高齢者・障がい者の自立促進と社会参加 | 所属課 | 高齢者支援課 | 担当者名 佐藤里佳 |
| | 基本事業 | 47 | 高齢者の社会参加の促進 | 所属班 | 高齢者保険班 | (内線) 2114 |
| 予算科目 | 会計 | 款 | 項 | 目 | 事業連番 | <input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始 |
| | 30 | 11 | 1 | 2 | 10443 | 成果優先度評価結果 5 コスト削減優先度評価結果 — |
| 事業期間 | <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 12 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度) | | | | | |

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
地域福祉の高揚と要援護者の早期発見、社会的孤立の解消や心身機能の維持向上に資する活動を行っている地域住民グループへの支援を行う。運営者会議の実施、レクリエーション等、講習会、サロン通信の発刊など地域住民グループへの支援サロンを開催している地区であれば自由に参加できる。
【業務の流れ】
事業は社会福祉協議会に委託。
【主な予算費目】
委託料

1 現状把握の部(DO、PLAN)

| | |
|--|--|
| (1) 事務事業の目的と指標 | 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度と同様 |
| ① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 社会福祉協議会が各地区単位でレクリエーション、講習会等のサロン事業に対する委託料。開催数374回。サロン数39ヶ所。 | ⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 講習会開催回数 回 イ サロン数 箇所 |
| ② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 サロンを実施している地区の高齢者。 | ⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア サロンに登録した高齢者数 人 イ 人 |
| ③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 高齢者の社会的孤立感が解消される。 | ⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 参加者の延べ人数 人 イ 人 |
| ④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 地域に仲間がいる。 | ⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 老人クラブへの加入者数 人 イ サロンへの参加者数 人 |

(2) 総事業費・指標等の推移

| | | 単位 | 18年度 実績(決算) | 19年度 実績(決算) | 20年度 目標(当初予算) | 20年度 実績(決算) | 21年度 目標(当初予算) | 22年度 (目標) | 23年度 (予定) | 全体計画 ~ 年度 | |
|----------------|--------------|----------|--------------------|----------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------|--|
| 投入量 | 事業費 | 国庫支出金 | 千円 | 1,262 | 1,387 | 1,477 | 1,477 | 1,675 | 1,550 | 1,550 | 総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 目 標 合 計 値 画 22 年 度 |
| | | 都道府県支出金 | 千円 | 631 | 694 | 738 | 738 | 837 | 775 | 775 | |
| | | 地方債 | 千円 | | | | | | | | |
| | | その他 | 千円 | 1,566 | 1,720 | 2,954 | 2,954 | 3,350 | 3,100 | 3,100 | |
| | | 繰入金 | 千円 | 1,591 | 1,749 | 740 | 740 | 837 | 775 | 775 | |
| | | 一般財源 | 千円 | | | | | | | | |
| | (A) 事業費計 | | 千円 | 5,050 | 5,550 | 5,909 | 5,909 | 6,699 | 6,200 | 6,200 | |
| | うち指定経費 | | 千円 | | | | | | | | |
| | うち時間外、特殊勤務手当 | | 千円 | | | | | | | | |
| | 人件費 | 正規職員従事人数 | 人 | 2 | 2 | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 | |
| 延べ業務時間 | | 時間 | 22 | 50 | 50 | 58 | 50 | 50 | 50 | | |
| (B)人件費計 | | 千円 | 87 | 199 | 199 | 231 | 199 | 199 | 199 | | |
| トータルコスト(A)+(B) | | 千円 | 5,137 | 5,749 | 6,108 | 6,140 | 6,898 | 6,399 | 6,399 | | |
| 活動指標 | ア 回 イ 箇所 | | 6 38 | 3 39 | 6 40 | 8 37 | 6 44 | 6 44 | 6 44 | | |
| 対象指標 | ア 人 イ 人 | | 3453 | 1311 | 1350 | 1350 | 1390 | 1390 | 1390 | | |
| 成果指標 | ア 人 イ 人 | | 3100 | 4611 | 4700 | 4948 | 4700 | 4700 | 4700 | | |
| 上位成果指標 | ア 人 イ 人 | | 3738 (4396)8325 | 3700 4611 | 3850 (4857)9200 | 3330 (4700)7854 | 3900 (5089)9640 | 3950 (5205)9860 | 4000 (5350)9950 | | |

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
社会福祉協議会が推進していた地域でのささあ活動「生き生きサロン」が基盤となる。その後「介護予防・地域ささあ事業」として国の補助事業となり平成12年度より開始した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
団体数が年々増加している。サロンを運営しているボランティアの高齢化が課題である。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
毎月の開催が楽しみ、サロンが生きがいとの声があり、なじみの関係ができてきた。サロンへの参加がない閉じこもりがちな方を、地域でどうささえていくか。

| | | | | | |
|-------|--------------|-----|-------|-----|--------|
| 事務事業名 | 地域住民グループ支援事業 | 所属部 | 健康福祉部 | 所属課 | 高齢者支援課 |
|-------|--------------|-----|-------|-----|--------|

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

| | | |
|-----------------|--|---|
| 目的 妥当性 評価 | ① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 高齢者の社会的孤立感を解消し、心身機能の維持向上を図ることにより、地域に仲間がいるに結びつく。 |
| | ② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 高齢化社会が進み高齢者の社交の場を確保するとともに、要介護状態を防止するためには、市が事業を行うのは当然である。 |
| | ③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象意図とも適切である。 |
| 有効性 評価 | ④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ | <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 合志市全域での開催できるようにする必要がある。 |
| | ⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ | <input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 高齢者が地域での社交場がなくなると、ふれあう機会がなくなるので家に閉じこもりがちになる。 |
| | ⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ | <input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 各サロン単位で事業を行っているため。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷ |
| 効率性 評価 | ⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) | <input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 委託で行っているため |
| | ⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) | <input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 委託で行っているため |
| 公平性 評価 | ⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ | <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 合志市全域ではサロンが行われていないため。 |

3 評価結果の総括(SEE)

| | |
|--|---|
| (1) 1次評価者としての評価結果 | (2) 全体総括(振り返り、反省点) |
| ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり | 将来的には、合志市全域での開催できるようにする。 合志市全域ではサロンが行われていないため。 |

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|----|----|-----|--|--|----|----|----|----|----|--|---|---|------|--|---|---|
| (1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) サロン事業が行われていない地区に対して、サロン事業を始めてもらうようお願いする。 | (2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>維持低下</td> <td></td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> </table> | | | コスト | | | 削減 | 維持 | 増加 | 成果 | 向上 | | ○ | △ | 維持低下 | | △ | △ |
| | | | | コスト | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 削減 | 維持 | 増加 | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果 | 向上 | | ○ | △ | | | | | | | | | | | | | | |
| | 維持低下 | | △ | △ | | | | | | | | | | | | | | |

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
その地区の世話をされる代表者の理解及びボランティアの確保が必要である。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

| | | |
|------------|---|------------------------------------|
| (1) 目的の直結度 | 2 | (直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9) |
| (2) 貢献度 | 3 | (貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12) |